

| 第2回横浜市物流等関連施設等指定管理者選定評価委員会会議録 | |
|-------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 日 時 | 令和6年10月17日(木) 12時30分～14時30分 |
| 開 催 場 所 | 大黒ふ頭港湾厚生センター 波止場食堂つばさ店 応接室 |
| 出 席 者 | 【委員】 來生委員長、浅井委員、石黒委員、原田委員、山谷委員 【事務局】 物流運営課長 鹿志村、担当係長 矢崎、担当係長 高橋、市川、鈴木、大坪 |
| 欠 席 者 | なし |
| 開 催 形 態 | 公開(傍聴者0人) |
| 議 題 | 1 指定管理者による事業説明及びヒアリング 2 意見交換及び評点集計 3 その他 |
| 決 定 事 項 | 1 指定管理者による自己評価等の説明と委員によるヒアリングを実施する。 2 各評価項目における委員会の評点を決定する。 3 第3回を令和6年11月27日(水)に実施する。 |
| 議 事 | <p>1 指定管理者による事業説明及びヒアリング (來生委員長) 進め方について、事務局から説明を。 (事務局) 資料に基づき、指定管理者による事業説明及びヒアリングについて説明。 (來生委員長) 説明を踏まえ、何かご意見、ご質問等はあるか。 (浅井委員) 事前に提出した評価シートの点数を変更したい箇所のみ直筆修正し、本日の最後に事務局へ提出するという流れでよろしいか。 (事務局) ご認識のとおり。 (來生委員長) それでは、港湾厚生関連施設及び物流等関連施設について、それぞれ指定管理者ヒアリングを始める。</p> <p>■港湾厚生関連施設【指定管理者：港湾福利厚生協会】 (指定管理者) 事業内容について説明。 (石黒委員) 収支決算書に関して、令和5年度の人件費が前年対比で減少しているように見えるが、削減できた理由は何か。 (指定管理者) 令和5年度より、収支決算書の記載を税抜価格に変更したため、金額が少なくなっているように見えるが、人件費自体に大きな変動はない。 (山谷委員) 女性の働きやすい環境づくりの観点で、なにか取り組まれていることはあるか。また、社員への研修の一環として、他港の視察を実施されているようだが、視察で得られた情報をもとに、指定管理業務で実施した取組はあるか。 (指定管理者) 港湾労働者に占める女性の割合はまだ少なく、具体的な取組の実現にはつなげられていないが、食堂や売店において女性向けの商品を提供したり、社内の責任職に占める女性の割合を増やしており、環境づ</p> |

くりにも注力している。また、東京港等の視察を踏まえ、休暇取得を促進できるよう社員間の協力体制を強化したり、発注等の事務手続きにおける電子化に取り組んでいる。他港の取組はとても参考にしており、積極的に交流している。

(浅井委員) 3点質問する。1点目は、自己評価について、大項目1(2)ア「職員数は適正か、事業計画書の組織体制と実際の体制に乖離がない」の評点を3としているが、貴社が目指す組織体制と比べてどのような認識を持っているのか教えてほしい(なぜ、控えめな評価としたのか)。2点目は、大項目3(3)イ「サービス向上に向けた独自の工夫がなされている」の評点を5としているが、自主事業の取組状況も含め、その理由を教えてほしい(なぜ、最高評価としたのか)。3点目は、現在の指定管理施設における管理運営について、コロナ禍前である令和元年と比較してどのような状況か、教えてほしい。コロナ禍前の水準に回復しているか。

(指定管理者) 1点目については、特筆できる取組実績はないが、事業計画書とおりの職員配置を適切に行っているため、基準の評点である3としている。2点目については、自主事業として提案している利便性向上につながる取組を第3期指定管理期間から継続して取り組んでいることに加え、利用者ニーズを踏まえたさらなる取組の拡充を積極的に検討しているため、自己評価として5としている。3点目について、施設の利用者数はコロナ禍以前と近い水準までに回復傾向が続いているが、埠頭再編や労働環境の変化といった他の要因も影響するため、これまでどおりの運営には戻らないと考えている。

(原田委員) 大項目2(2)ア「グリーン購入の推進や巡回時のエコドライブ、電気、ガス、水道等のエネルギー使用量削減等、温室効果ガスの排出削減に向けた取組を推進している」について、夏季室温を28度としたとあるが、一律ではなく、天候や気温等の影響を考慮し臨機応変に対応していたのか。また、大項目4(2)「緊急時の対応」の内容に関して、AEDを設置しているとあるが、実際にAEDを使用する講習会を実施したことはあるのか。

(指定管理者) 室温28度の記載については、室内の温度が28度に保たれるよう管理運営を行っていたという意味であり、実際にはエアコンの設定温度を変更しながら柔軟に対応した。また、AEDの使用についても、コロナ禍を除いて毎年開催している従業員向け消防訓練の際に、講習を行っている。

(來生委員長) 毎年度限られた指定管理料の中で施設の管理運営を行っていく上で、先ほど説明のあった事務手続きの電子化を図っていくことにより、人件費の削減につなげていくという考えを持っているのか。また、利用状況におけるコロナ禍からの回復という内容について、先ほどコ

ロナ禍以前と同様の運営には戻らないのではないかという話があったが、横浜港内全体の労働人口や作業量の変化も影響していると考えているか。

(指定管理者) 電子化については、取引を行う関係事業者の大多数が電子化に対応していることが分かり、他港の取組状況も参考にしながら、当協会においても促進していくこととした。これにより、長期的な目線で、人件費等の削減や効率的な業務執行につなげていく考えである。また、後段については、厚生センターが設置されていない南本牧ふ頭における稼働が活発になってきたことで、従前から存在するその他のふ頭から港湾労働者が流れていき、厚生センターにおける利用状況の変化につながっていると感じている。

(來生委員長) 以上でヒアリングを終了する。

(指定管理者) ありがとうございました。

■物流等関連施設【指定管理者：横浜港埠頭株式会社】

(指定管理者) 事業内容について説明。

(山谷委員) 施設内の老朽化した什器について、リース品を用いて更新したとのことだが、新規購入ではなくリースにした理由はなにか。

(指定管理者) 総額としては、買い取りの方が安価であるが、複数施設において一斉に什器を更新する場合、一度に多額の費用がかかってしまう。限られた指定管理料の中で、通常業務に影響が出ない範囲で更新していくために、リースという方法を選択した。

(山谷委員) 何年リースにしているのか。また、期限を迎えた際の対応はどのようなものになるのか。

(指定管理者) 5年リースにしている。また、期限を迎えた際には、什器を返却することや買い取ってそのまま活用する等、状況を踏まえて柔軟に判断することができる。

(山谷委員) 大項目5(2)「経費削減」の内容について、指定管理業務の中でデジタル化を図っている業務は具体的に何か。

(指定管理者) 社内で情報共有を行う際にデジタルツールを活用しており、例えば施設の維持管理を行う上で、管理部門と技術部門とで効率的に情報共有することができ、業務改善につなげている。

(石黒委員) 収支決算書に関して、令和5年度の「その他の委託費」が前年対比で大きく増加しているが、その理由はなにか。また、指定管理者が実施している研修内容について、過去の事業報告書における研修実績には「コンプライアンス研修」という記載があったが、令和6年度事業計画書では「ハラスメント研修」という記載に変わっており、この意味を教えてください。

(指定管理者)「その他の委託費」については、横浜港における自動車貨物の輸出の関係で、海外での検疫対策という観点から、埠頭内の除草作業を重点的に取り組んだため増加している。また、廃棄物施設を移転するにあたり、廃棄物処理業務が発生したことも要因の一つである。後段のコンプライアンス研修については、現在も継続して実施しており、今年度は特にハラスメントに関する内容を取り扱うこととしたため名称を変更している。

(原田委員) 令和4年度及び5年度の事業報告書において、利用者アンケートの集計結果が掲載されている。この結果によると、年度ごとに満足度に変化が生じており、特に海側の満足度が令和4年度から5年度にかけて減少しているが、どのように分析しているのか。

(指定管理者) 毎年度の指定管理業務において、サービスの質の低下であったり、大きな不具合を生じさせたということはない。海側のアンケートについては、船舶の係留に関して、より早く停泊場所を決定してほしいというご要望に応えきれていないことが、満足度を低下させる要因の一つではないかと考えている。各バースに余裕がある場合はスムーズに対応できるが、どうしても荷役船の着岸を優先せざるを得ないため、すべての要望に応えることが難しいところもある。

(浅井委員) 3点質問する。1点目は、自己評価について、大項目1(2)ア「職員数は適正か、事業計画書の組織体制と実際の体制に乖離がない」の評点を3としているが、貴社が目指す組織体制と比べてどのような認識を持っているのか教えてほしい(なぜ、控えめな評価としたのか)。2点目は、大項目3(3)ア「自主事業として提案した事項が達成されている」の評点を5としているが、自主事業の取組状況も含め、その理由を教えてください(なぜ、最高評価としたのか)。3点目は、現在の指定管理施設における管理運営について、コロナ禍前である令和元年と比較してどのような状況か、教えてほしい。コロナ禍前の水準に回復しているか。

(指定管理者) 1点目については、利用者ニーズの高まりや施設の老朽化等、様々な業務を行う必要がある中で、よりよいサービスを提供するために更なる人員確保を図っていく必要があると認識している。一方で、業務遂行にあたって最低限の基準は達成しているという観点から、評点を3としている。2点目については、指定管理期間を開始した当初の提案内容に加え、荷さばき地の拡張という新たな自主事業を提案し実行することができており、利便性向上に寄与した実績を踏まえて評点を5としている。3点目については、現在の利用状況はコロナ禍前と同等まで回復していると感じており、施設の維持管理という点では、今後さらに多様な業務に取り組む必要があると考える。

| | |
|------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | <p>(來生委員長) 大項目 1 (3) ウ「複数の施設(自社施設と公の施設)を一体管理することによる効果的な管理を行っている」の評点を 5 としているが、その理由を教えてください。</p> <p>(指定管理者) 大黒ふ頭における自動車貨物の取扱に関して、自社で管理運営する自動車ターミナルの稼働状況を向上させる取組を実施しているほか、さらなる利用促進につながるよう、公共の荷さばき地における利用者の配置を柔軟に変更するなど、一体的に運用することで利便性向上に寄与しているという実績を踏まえ、評点を 5 としている。</p> <p>(石黒委員) 人件費が増加傾向にある中で、どのような工夫を検討しているか。</p> <p>(指定管理者) 中途採用と比べ、若手社員の採用、育成に積極的に取り組んでおり、人件費の抑制や組織体制の強化を図っている。</p> <p>(來生委員長) 以上でヒアリングを終了する。</p> <p>(指定管理者) ありがとうございました。</p> <p>2 意見交換及び評点集計</p> <p>(委員) ヒアリング結果をもとに、意見交換及び評点を修正。</p> <p>(事務局) 評点を集計し決定。</p> <p>3 その他</p> <p>(來生委員長) 今後のスケジュールについて、事務局から説明を。</p> <p>(事務局) 今後のスケジュールについて説明。</p> <p>(來生委員長) 内容について、何かご意見、ご質問等はあるか。</p> <p>(委員) 特になし。</p> <p>(來生委員長) それでは、説明のあったスケジュールどおり進めることとする。</p> |
| <p>資 料</p> <p>・</p> <p>特 記 事 項</p> | <p>1 配付資料</p> <p>(1) 次第</p> <p>(2) 進行概要</p> <p>(3) 評価表・評点シート</p> <p>2 特記事項</p> <p>次回は、令和 6 年 11 月 27 日(水)に開催予定</p> |